

## 第7回京都府北部福祉人材確保・定着戦略会議議事録

●日時 平成29年8月30日(木) 13:30~15:30

●場所 宮津市保健センター

●内容

### 1 あいさつ(京都府)

京都府では、きょうと福祉人材育成認証制度を核として、様々な介護・福祉人材確保を進めている。昨年度5法人が上位認証を取得され、その先進的な取組みは全国的にも注目されている。福祉業界への新規参入を促進するには、業界のイメージアップ、魅力発信が重要。引き続き業界の皆様方と連携して人材確保に取り組んでいきたい。

北部の人材確保については非常に厳しいものがある。北部福祉人材養成システムの取組みを進めて来ており、今秋に宮津総合実習センターが開所し、福知山市の現任者研修、舞鶴市の養成校と合わせて3つの拠点が完成する。

また大学の実習の参加者が急増しており、来年度には昨年度の7倍の約200名が北部に訪れるような状況。福祉職場の魅力発信、若い人達に北部の良さ、魅力をしっかりと発信して行く事が大切。この会議に参画していただいている皆様方に一層のご理解とご協力を願いたい。

### 2 報告事項

#### (1) 京都府の介護・福祉人材確保総合事業について

##### ●京都府

##### ○北部人材養成システムの状況

- ①養成校(専門学校誘致) 舞鶴市 舞鶴YMCA 国際福祉専門学校 27年度4月開校
- ②総合実習センター 宮津市 29年度9月事業開始予定
- ③現任者研修の実施 福知山市

(一社) 福知山市民間社会福祉施設連絡協議会 27年度5月開講

##### ○平成29年度北部福祉人材確保事業の進捗状況について(7月末時点)

#### 1 北部福祉人材カフェ運営事業

就職希望者へのカウンセリング、セミナー、職業紹介等を実施。新規登録者は197名、内定者125名。

#### 2 ハローワークとの連携

北部地域のハローワークと連携し、ミニ就職説明会16回、合同就職説明会4回、職場見学・体験会11回、出張相談(毎月)、セミナー等を実施。

#### 3 新規福祉人材養成事業

福祉人材養成のための離職者向け求職者訓練(5ヶ月間)を実施。現在、受講者募集中。

#### 4 大学実習等誘致事業

大学7校・学生93名が参加し、北部地域における実習・フィールドワークを実施

(参加大学: 大谷大学、京都光華女子大学、花園大学、佛教大学、龍谷大学短期大学部、同志社大学、京都ノートルダム女子大学)

#### 5 きょうと介護・福祉ジョブネット

##### □北部福祉の学びチーム

・大学フィールドワークの誘致、受入れ方法について

・学びの冊子作成

## 6 理解促進事業

次世代の担い手育成事業 小、中学校 8校で実施または予定

高校生事業

・出前講座 4校

・福祉施設見学会 2校

・インターンシップ 2校 実施

## (2) 福知山現任者研修について

### ■資格取得研修

#### 1 介護福祉士実務者研修

開講期間 平成 29 年 6 月 1 日～平成 29 年 12 月 14 日

募集人数 60 名 受講者数 60 名

#### 2 喀痰吸引等（第 1 号・第 2 号）研修

開講期間 平成 29 年 8 月 25 日～平成 29 年 10 月 27 日

募集人数 30 名 受講者数 17 名

#### 3 介護職員初任者研修 <実施予定>

開講期間 平成 30 年 1 月 6 日～平成 30 年 3 月 24 日

募集人数 20 名 11 月から募集開始予定

### ■現任者研修

#### 1 介護職員基礎技術研修（3日コース）

開講日時 1 平成 29 年 7 月 25 日

2 平成 29 年 8 月 22 日

3 平成 29 年 9 月 12 日

受講人数 26 名

#### 2 中堅職員向 OJT 推進能力向上研修

開講日時 平成 29 年 7 月 19 日

受講人数 19 名

#### 3 介護職員契約職員研修

開講日時 平成 29 年 6 月 6 日

受講人数 18 名

#### 4 次世代リーダー養成研修

開講日時 1 平成 29 年 8 月 8 日

2 平成 29 年 9 月 26 日

受講人数 26 名

#### 5 介護職員基礎講座（北部連携研修【宮津市】）<実施予定>

開講期間 平成 29 年 10 月 26 日～平成 29 年 10 月 30 日

募集人数 30 名

研修会場 京都府北部福祉人材養成システム総合実習センター

「Ma・Roots」2階 研修室

受講対象者 福祉施設現任職員及び福祉施設勤務予定者

募集期間 平成 29 年 8 月 31 日～平成 29 年 9 月 29 日

■その他研修

1 介護福祉士国家試験対策講座

開講期間 平成 29 年 11 月 7 日～平成 30 年 1 月 10 日（5 日間）

募集人数 30 名

受講料 ￥30,000

応募状況 19 名（8 月 10 日時点）

（3）舞鶴養成校について

2015 年 2 年制で開校 定員は一学年 40 名

充足率

■年度別入学者数	2015 年 14 名	35%
	2016 年 23 名	57.5%
	2017 年 23 名	57.5%

■卒業生（2016 年度：1 期生）12 名 介護福祉士として就業している。宮津市 1 名、舞鶴市 11 名

高校への営業活動について

・北部地域の高校、京都府、兵庫県、福井県の計 54 校に舞鶴市職員と一緒に訪問活動を行なっている。宮津市の高校については宮津市職員とともに活動している。

（4）宮津総合実習センターについて

29 年 8 月建物完成 9 月 1 日開所予定

■施設概要

- ・特別養護老人ホーム 60 床
- ・保育所 宮津市吉津保育園の分園 定員 20 名
- ・障害者施設
- 就労継続支援 B 型 定員 10 名
- 生活介護 定員 6 名
- 放課後デイサービス 定員 10 名
- ・実習施設 宿泊シングルルーム 8 室

24 時間対応型の複合施設で、高齢・障害・児童の分野の垣根を超えた実践が可能な施設となります。資格取得だけでなく、北部フィールドワークにもプログラムを構築し積極的に参加していきたい。

〈北部フィールドワーク大学への訪問活動について〉

昨年度までは主に社会福祉士の資格取得の目的で、毎年 5 大学 20 名程度の学生が北部地域で実習

を行っていた。昨年、同志社大学の野村先生にもアドバイザーとして加わっていただき、北部の魅力を発信するフィールドワークの小冊子を作成し、福祉介護に偏った内容でなく多様性を持たせたカリキュラムを提案した所、今年度は初めて参加する同志社大学、京都ノートルダム女子大学を含め7大学93名の参加と大幅な増加となった。また社会福祉系の学部だけでなく、地域政策を学ぶ学生の参加、教育学部の学生、流れとしては今まで参加の無かった大学、学部など来年度についても様々な意向を聞いている。

〈同志社大学 野村准教授〉

大学(養成校)の求める実習とは。国の流れは①他人事を「我が事」に変えていくような働きかけ、②地域の課題を「丸ごと」受け止める場 「我が事・丸ごと」が合言葉となっている。

社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、保育士の福祉の専門職を養成している教育の現場では②の「丸ごと」受け止める場と教育をどのようにリンクさせていくのかに力点がおかれている。

[入口支援の拡大] 各職種が領域だけのことをやっている時代は終わって、無理だろうと思う事例をそれぞれがウイングを広げていくことで、地域の隙間を重なり合いを造りながら埋めていく。

[出口支援の創造] 社会資源の開発。既存のものに当てはめるのではなく、「丸ごと」受け止めるには、この地域で新たな仕組み作りを当面の対策と長期的な対策が必要。長期的な対策については、無いものを地域でいかに造りだすことが出来るか。新たな社会資源の創出、地域に不足する資源の検討が、「丸ごと」受け止める話し合いの議題となる。このような人材養成を地域の現場の方と養成校で協力しながら育て、輩出することを目指している。

社会福祉法人改革に「地域における広域的な活動」が盛り込まれた。学生は実習で社会福祉法人が果たすべき地域アセスメントの方法や地域における取組が学べ、まさに北部で行われている北部福祉フィールドワークは社会福祉士を養成する教育の現場としてはまたとない機会と考えている。

社会福祉士の資格制度が5つの柱で改革に向かっている。

- ①社会福祉士養成にかかる関係団体（養成・専門職・事業者）による協議体の設立。
- ②実習の場を「地域」にするための養成制度見直し。
- ③養成校の養成教育体制の強化と教育方法の開発が不可欠。
- ④実践的な教育内容にするための見直しが必要。
- ⑤実習において長く地域に関わる工夫。

### 3 協議事項

#### (1) 宮津実習センターの活用について

##### 1 北部フィールドワークの活動拠点として

現状 93名を超える大学生を受入れている。宮津市を中心とした活動拠点として実習センターを利用する。北部実習中、先生の宿泊先やセミナー会場としても利用する。

##### 2 福祉系の学びを目的とした大学セミナー利用拠点として

大学のゼミ活動や、テーマ研究の宿泊研究拠点として不定期の利用を促す。但し利用料の設定、送迎、駐車等の課題を整理する必要がある。

##### 3 福祉理解事業の利用拠点として

北部フィールドワークで実施する福祉理解事業の活動先として利用。報告会や高校教員向け講座など多様な学びを得る機会を提供する。

- 宮津市

総合実習センターが上手く回るように宮津市もバックアップしていく。実習のカリキュラム面で民生委員との橋渡しのようなことをやって行きたい。宮津市は11月下旬にシーサイドセンターミップルに事務所を移転。障害者生活支援センター、子育て支援センター、教育委員会事務局、市立図書館が入りかなり珍しい形になるかと思う。実習生にもそういった様子を見ていただける。

- 高校教育課

府立高校で福祉の専門学科及びコースを設置しているのは、北部では久美浜高校である。

現在、高校では、学校の中だけで教育活動を行うのではなく、地域活動等に高校生を積極的に参加させ、そこから他者とつながる力や社会に貢献する力を身につけさせたいと考えている。例えば、介護施設、幼稚園等にボランティアとして吹奏楽部、合唱部等が行き、演奏等で交流をしている。そこでの経験から、その仕事に興味を持ち、進路選択の一つにしている実態がある。そのような経験から実際に福祉関係に進む生徒もいるし、さらに知識を身につけるため、福祉関係の大学等に進学する生徒もいる。

- 同志社大学 野村准教授

北部福祉フィールドワークでの受け入れは一過性となる事が多く、受入れる価値があるのかどうか優先順位が低くなるのが心配。本学では卒業生のフォローにも力を入れており、社会福祉系学部の教員の多くは、育てた学生が一人でも多く福祉現場で定着することを願っている。北部に就職しない可能性はあるが、学生が福祉現場で定着するように様々な機会を探っている中での北部福祉フィールドワークとなることをご理解願いたい。

## (2) 北部各市町、関係団体からの報告

- 京都府老人福祉施設協議会

府老協の中で、人材確保ができない、十分なサービスの提供ができないと言う声がある。一方で何名確保ができたと報告を聞くが数値と実感に差がある。一体どこで、どういう形で足りないのか実態を掴むため、できれば年内中にアンケートの実施をしたいと考えている。実習生は様々なルートで受入を行っているが、府老協北部施設として北部フィールドワーク実習生の受入れに協力して行きたい。人材確保については、親世代へ福祉の仕事理解の取組みが必要である。

- 京都府

最近大学の先生方と話す機会があったが、相当数、社会福祉法人でなく民間の福祉サービスの会社に就職していると聞いている。就職フェアでもイメージ作りが上手であると感じている。

- 京都府老人福祉施設協議会

最近、人材派遣会社からの問い合わせが多くなり、2名を受入れた。何故なのか聞いてみると、どこの施設も同じでどこへ行ったらいいかわからず、派遣であればだめなら替わればいいと言うドライな考え方であった。雇用のあり方が変わってきていると感じている。

- 京都知的障害者福祉施設協議会

最近、京都市内中心に協議会に加盟していない施設が新しく立ち上がってきている。働き手が足りないとも聞こえてこず、何か魅力、モチベーションが有るのか。今春には短大、専門学校2名、高校生2名の新卒採用ができた。

●京都府介護福祉士会

京都府介護福祉士会は4月から新体制となり、会長も代わり一新した。組織編制も変わり、活動内容も細分化。専門学校、養成校にも訪問して、介護福祉士の仕事や入会の意義について説明して入会率アップを目指しているが北部は思うように上がらない。一番問題なのは北部の役員を担う人材がないこと。介護福祉士の活動は職場を離職したいと挫折しかかったきにも、会員同士刺激を受け、乗り越えられる支え合いの活動だと実感している。

●京都社会福祉士会

介護福祉士会の抱えている問題は社会福祉士会にもあてはまる。京都府において会員数は約1000名、社会福祉士の5人に1人の割合で加入している。全国的にも同じような割合と聞いている。入会することにメリットを感じないという声もよく聞く。ソーシャルワークの実習制度においてもフィールドワークという概念は広がりつつあり、一つの施設で完結するという実習形式には限界がある。社会福祉士会に入っているメンバーは意識の高い者も多く、そういった団体に入会していることで施設の枠をこえた取り組み、実践も可能になるかと思う。そのような施設の枠を超えて仲間同士で切磋琢磨する仕組みもあることを学生など外部に発信したいと考えている。

●京都府看護協会

看護協会の取組として、在宅分野の強化、チームとして協働するため研修会を行っている。協会員でない介護職も参加できる枠を設定。

- ①看取り研修 介護福祉士も入る事ができる。
- ②介護施設の管理者研修。
- ③糖尿病をお持ちの利用者への爪切り研修。
- ④地域包括ケアについての講演会にも参加可能。

●福知山高等技術専門学校

離職者された方の短期間（2～3ヶ月）職業訓練を行っている。今年度は18コース実施予定。

■ 初任者研修	今年度	3コース募集	2コース開講
	昨年度	5コース募集	3コース開講
	一昨年度	5コース募集	1コース開講

充足率は半分程度

■福祉即戦力人材養成科 募集中

訓練生が減少している要因としては、ハローワークの求職者が減っている、景気が上向きで訓練を受けなくても就職できること等が考えられる。

●峰山公共職業安定所

7月の有効求人倍率について

京都府全域 1.57倍 峰山管内 1.58倍 峰山管内（介護サービス） 3.1倍

景気が良くなって倍率が上がったのでは無く、求職者が減ったためと考えており、求職者には就職しやすい場所と説明している。

夏の就職フェアでは学生の来場者が減少しており、来年度以降北部フィールドワークの学生が来場、就職してくれればと思っている。

●京丹後市

本年度、京都府事業である地域の介護と事業者の経営管理連携推進モデル事業に取り組んでいる。28年度も4法人でモデル事業に取り組んでおり、本年度は枠を広げて京丹後市福祉サービス事業者協議会21法人の団体でモデル事業を実施中。しっかりと事業を実施し、モデル事業の実績も出していきたいと考えている。

●伊根町

介護福祉士の資格取得研修を実施した町内の介護サービスの事業者に補助金を交付する事業を今年から始めている。

●京都府福祉人材・研修センター

- 1 福祉資格 離職時の届出制度を開始 介護福祉士会と協議していく。
- 2 市町村における介護人材定着事業 3、6月に就職フェア（京都市内）を実施予定
- 3 福祉資格者就業サポート研修  
北部 10月21、22日 福知山公立大学で実施
- 4 実務者研修受講資金貸付
- 5 介護人材再就職準備金貸付

●京都府

ご意見等いただき感謝。いろんなメニューは実施しているが、人材不足感はまだまだ強い。どこがどれだけ不足しているのか、分析もきっちりやっていかなければならない。皆様と情報を共有し、連携して取り組んでいくのが重要。介護・福祉の仕事が魅力あるものと発信していき、尚且つこの地域がどんな所なのかきっちり伝えることが大切。宮津総合実習センターについては、今後に向けて、関係市町、関係団体、関係法人のご協力を頂きながら取り組んでいきたい。